

SCAT



2025 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 : **SCAT 株式会社**
代 表 者 : 代表取締役 社長 長島 秀夫
(コード: 3974 東証スタンダード市場、名証メイン市場)
問 合 せ 先 : 取締役 執行役員 高橋 栄
(TEL: 03-6275-1130)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、取締役会の機能向上による企業価値向上を図ることを目的として、第 58 期（2025 年 10 月期）における取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、指名報酬委員会において、全ての取締役及び監査役に対し、第 58 期（2025 年 10 月期）における取締役会の実効性に関して段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、無記名方式により全員から回答を得ました。これを集計した上で、取締役会において分析・評価を行いました。

(1) 実施日時

2025 年 11 月 アンケート作成、回収、評価・分析及び課題抽出

2025 年 12 月 指名報酬委員会から取締役会へ答申

2025 年 12 月 「第 58 期（2025 年 10 月期）取締役会の実効性評価」確定

(2) 評価者

全取締役、及び監査役

(3) 実施方法

全評価者に対するアンケートの実施

指名報酬委員会でアンケート結果の評価・分析及び課題抽出

(4) 評価項目

第 1 部 取締役会の構成

第 2 部 取締役会の運営

第 3 部 取締役会の議題

第 4 部 取締役会を支える体制

2. 評価結果の概要

各取締役及び監査役の自己評価において、当社の取締役会の実効性について前年度評価より改善され一定の評価を確保しておりますが、課題を確認いたしました。

評価された項目では、特に取締役会の議題及び議事運営について、事前に業務執行を担う執行役員会や任意の委員会において協議した資料や課題を、セキュリティを確保したクラウド上のファイルボックスを活用することにより、取締役会に参加する社外取締役及び社外監査役に向けて共有を図り理解を促すことで、より整理された議論が展開できました。よって、株価や流通株式数に関する施策や人的資本に係る施策など経営に係る重要議題を協議する時間を確保し、各種施策の実施に繋がりました。しかし、ESG経営やSDGsなどのサステナビリティへの議題がまだまだ不足しているとの指摘があり、今後の課題となりました。

個別のテーマのうち内部監査部門との連携の確保については、内部監査室長が説明員として取締役会に参加することで課題の解消に繋がりました。しかし、ここ数年の指摘事項であった役員のトレーニングについて、社外の専門団体の研修や東証等の提供するWEB研修等の受講による機会の確保はあったものの、依然として個別の資質に依存しているとの意見がありました。

3. 改善された項目

- (1) 取締役会の議題の事前共有による運営の効率化
- (2) 内部監査部門との協議の機会の確保による課題の共有と対応
- (3) 経営戦略等に関する議論の深化

4. 評価結果を踏まえた取り組み

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ議論した結果、以下を課題として認識し、取締役会の実効性向上のための取り組みを行います。

(1) 取締役会の議題（サステナビリティ）

当社は、「経営戦略等の方向性の議論」「経営陣の報酬」及び「リスク管理」等については、執行役員会及び任意の委員会の設置・運営により、案件の整理及び可視化が浸透し改善された。しかし、サステナビリティについての議論が不足との指摘があり、今後の運営課題となりました。

(2) 取締役会を支える体制の強化

当社は、役員に対するトレーニングや会社費用での外部専門家の助言を得る機会の確保について、役員等に対する研修を推奨し、取締役会における議論の質の向上を図り、経営の監督機能を強化します。

当社取締役会は、今回の実効性評価結果を踏まえ、一層充実したコーポレートガバナンス体制を構築してまいります。

以 上